

令和 7 年度全国高等学校定時制通信制体育大会 第 5 6 回剣道大会アンケート 結果

1.

都道府県名を入力してください。(例:東京都) → 14 応答

※今年度参加都道府県数 27

2.

【大会前】大会申し込み時期・方法は適切であったか。

→ 適切であった：14 応答 / 適切でなかった：0 応答

3.

【大会前】質問 2 で「適切でなかった」と回答した方に質問です。具体的な改善点を入力してください。 → 0 応答

4.

【大会前】大会案内(開催要項・ホームページ)はわかりやすかったか。

→ わかりやすかった：14 応答 / わかりにくかった：0 応答

5.

【大会前】質問 4 で「わかりにくかった」と答えた方に質問です。具体的な改善点を入力してください。

→ 0 応答

6.

【大会前】宿泊案内はわかりやすかったか。

→ わかりやすかった：11 応答 / わかりにくかった：1 応答

宿泊をしていない：3 応答

7.

【大会前】質問 6 で「わかりにくかった」を選択した方に質問です。具体的な改善点を入力してください。

→ 0 応答

8.

【大会前】大会参加費の値段(個人 4500 円、団体 45000 円)は適切であったか。(※参加費は定通大会全種目共通)

→ 適切であった：12 応答 / 適切でなかった：2 応答

9.

【大会前】質問 8 で「適切でなかった」を選択した方に質問です。参加費についてのご意見を入力してください。

→ 2 応答

- ・ 男子団体はまだ他のチーム競技と同等程度の人数であるため、適切であると思います。しかし、女子団体については、3 名でも負担が大きいのに最少人数である 2 名での参加だと個人参加も合わせてかなりの負担になります。種目間で不公平のないよう共通設定になっていますが、そもそも人数が公平ではありません。女子団体の参加チーム数を増やすためにも、なんとか負担を減らしていただけると、参加しやすくなるかと思います。
- ・ 団体戦は男女で選手数が違うので、女子を少し安くするなど区別をしたほうがよいと思う。3 人制で 45,000 円は高すぎるのではないかな。

10.

【大会当日】大会全体の流れは適切だったか。

※開会式の縮小について、試合の順序(女子個人→男子個人→男女団体)について

→ 適切であった：12 応答 / 適切でなかった：2 応答

11.

【大会当日】質問 12 で「適切でなかった」を選択した方に質問です。具体的なお意見を入力してください。 → 2 応答

- ・ 個人戦の進行において、勝ち上がった選手が連続で次の対戦となるため、体力を考慮して試合順序を入れ替える（9 試合目を行うところを、10 試合目を先に行った）ということがありました。こちらとしては、大会前日の監督会議でそういった場合の入れ替えが発生するということを聞いていません。しかも試合直前になって試合場主任の方から伝えられても選手のメンタル調整などに配慮していない対応です。トーナメントを勝ち上がっていけば連続の試合も当然発生するのに、局面だけで判断した対応は受け入れ難かったです。（実際には受け入れましたが）
- ・ 個人競技は監督が帯同してしないのは仕方ないが、団体戦は男女が同時進行のため、男女兼務の監督は適宜指示ができなくて大変だった。

12.

【その他】各地域での大会運営や参加に際して、困っていることや共有したいことがあればご入力ください。

→ 9 応答

- ・ 競技経験の無い競技の引率でしたが、監督会議で実際の動きを示して頂き非常に分かりやすかったです。来年も全国大会を目指して頑張ります。大会運営に携わられた先生方大変お世話になりました。

- ・ 予選において女子参加者の減少が悩ましいところです。
- ・ 県大会への生徒減少。(男女とも)
- ・ 前日の監督会議について、質疑応答の内容が、審判会議に抵触するような話が多かったと感じられます。例えば鏝迫り合いからの別れ方や反則に関する内容などは、地方予選の時点と変わらないはずですし、予選を勝ち上がっての全国大会出場権を得た選手・監督が再度質問しなければいけない内容とは思えませんでした。どこかの都道府県の監督が剣道に関してご存知ないとおっしゃっていましたが、それは各府県の高体連剣道専門部が事前に指示しておくことで監督会議で書面確認のみで良いと思いました。またテーピングやサポーターの申請や試合進行順序などの詳細は監督会議でありませんでした。次回は事前にお知らせいただけると助かります。
- ・ 毎年、選手の参加に加えて審判の依頼にも頭を悩ませています。定通大会の開催時期が全日の地区か県大会と重なりやすく、また教員大会の県予選にも重なりやすいため、依頼できる先生が限られてきます。しかし定通大会の開催時期を遅らせると全国の申込に間に合わず、早めると全日の中間考査の時期に差し掛かり、結局依頼しにくい状況です。剣道連盟に依頼したこともありますが、年によっては片手で足りる人数の大会で、お願いすることも申し訳なく感じています。
- ・ ありません ／ ・ 特になし
- ・ 京都府では今年に始まったことではなく、そして、京都府と同じ状況の都道府県様も有ろうかと思いますが、本府は近年加盟校が2校の状況が続いており、そして、今後増える見込みも無いことが悩みの種です。
- ・ 多くの通信制の高校では、学校ではなく地域の道場での稽古がメインとなっており、引率教員が全くの剣道素人であることが多い。本県では今年度出場校に剣道の技術指導ができる教員がおらず、専門委員長である私が団体戦の監督を務めたが、県の高体連事務局は「監督は引率教員の中から出してください」と譲らず、私の旅費を支出してくれなかったの、学校に無理を言って私の旅費を出してもらった。開催要項に監督の要件を、「有段者」とは言わないにしても、「団体戦の監督は剣道の技術指導ができる者。」等、剣道ができる人限定みたいな表現にしてもらえると県高体連事務局にも話がつけやすく、助かる。素人監督が増えると特に団体戦においては、試合中の疑義申し立て・代表戦選手の選出などがうまくできず、大会の質が下がると思う。愚痴みたいで申し訳ありません m(_ _)m

各都道府県の先生方、お忙しいところご回答いただき、ありがとうございました。
次年度もどうぞ宜しくお願い申し上げます。